



プロジェクト名称

宇宙開発学生団体Hoper's

プロジェクト活動概要

私たちは2つの目的を掲げて活動しています。

1つ目は、“ものづくり”を宇宙開発という観点から経験することです。

宇宙開発の一貫として、小型模擬衛星cansatの製作および、大会に出場します。

cansatとは、小型衛星を製作する場合のバス部分(基本機能に必要な機器)の開発練習として考案されたものです。

さらに、衛星に必要な電源・通信・GPS・姿勢制御などの要素を組み込んだ地上用衛星実験機器です。

また、学生による手作り衛星ロケットなどの実践的な宇宙工学活動を支援することを目的としているNPO法UNISECに加盟しています。

UNISECはcansat競技における大会運営にも携わったりしています。

また、定期的に総会があり、他大学のcansatを製作している方々と話す機会があり、とても楽しいです。

2つ目は、“ものづくり”を通して、『豊洲という街』と『人』の架け橋となることを目的としています。

考えているのは、現在子供たちの理科離れが深刻化しているので、私たちの活動を通して、豊洲の子供たちに“ものづくり”の楽しさを伝えるために手作りペットボトルロケットなどの製作を考えています。

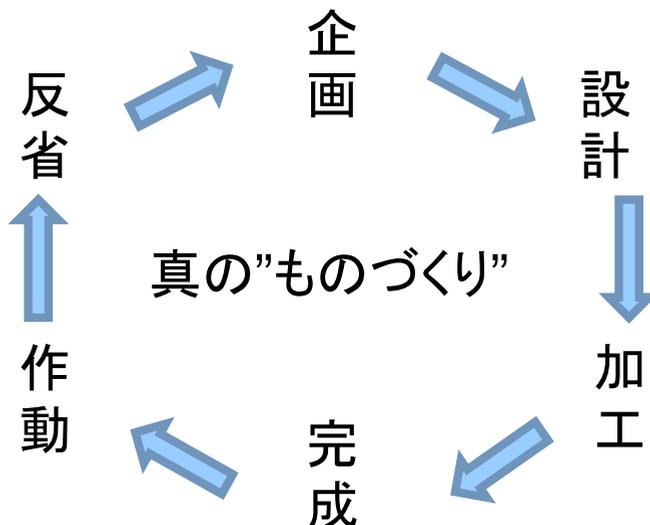
私たちの考える“ものづくり”とは、何を作るかを企画して、どのように設計をするのか。

そして、設計を元に加工をして、完成させます。

完成したものは作動させて確認する必要がある。私たちは、ここではcansat競技大会に参加することで作動確認をしています。

そして、大会の反省を活かして次の大会にむけて企画します。

このサイクルこそが、真の“ものづくり”として活動しています。



活動状況報告 & 活動写真など【活動期間:2012年6月18日～9月30日】

目的の1つの、“ものづくり”を宇宙開発という観点から経験するということの第一目標であった、8月の秋田県能代市で開催された、国内2大cansat競技大会の『能代宇宙イベント』に出場することが出来ました。
結果としては、手作りパラシュートは成功しましたが、落下の衝撃で本体の電源が入らず動くことが出来ませんでした。
結果的には動きませんでしたが、大会に出場して動かなかったという"結果"を出したことに意味があると思います。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

今回、能代宇宙イベントに無事出場することができました。
次回は、来年3月に種子島で開催予定の『種子島ロケットコンテスト』の、cansat競技に出場する予定です。
種子島ロケットコンテストにむけて現在活動をしております。
第2目標は、能代宇宙イベントで実現出来なかった新たなcansatを製作することです。
そのため、能代宇宙イベントでは勉強不足であった、マイコンやプログラミングの勉強を日々メンバーと楽しく行っています。
また来年はcansatと平行して、ハイブリットロケットを製作しようと考えています。
UNISECを通してロケットに関する資料まとめを行っています。